



あかね

令和元年10月発行

 独立行政法人国立病院機構
 東近江総合医療センター
 広報委員会

7月から当院は敷地内全面禁煙になりました。

しいたけ皮膚炎のお話

皮膚科 高山 悟

「天高く馬肥ゆる秋」・・・

秋も深まり、食べ物のおいしい季節となりました。サンマや松茸、栗、ギンナンと旬のものが目白押しですが、しいたけも秋に旬を迎えます。



バーベキューや鍋ものなどでしいたけを食べる機会も多くなってくると思いますが、実はしいたけには大きな落とし穴が潜んでいます。生あるいは加熱不十分なしいたけを食べると「しいたけ皮膚炎」と呼ばれる皮膚疾患を発症することがあるのです。特にバーベキューでの焼きシイタケで発症することが多く、干しシイタケの戻し汁やシイタケチップなどで発症することもあります。

出現のタイミングとしては食べてから数時間から数日後と幅があり、上半身中心にひっかいた痕が赤い線として残るのが特徴です。非常に強いかゆみが全身に出ますが、蕁麻疹のようなみみず腫れは原則見られません。原因はよくわ

かっていませんが、ある種の抗がん剤の中にも同じような症状を呈するものが知られています。治療としてはステロイドの外用薬と抗アレルギー剤の内服でだいたい1, 2週間でよくなります。しいたけはしっかり火を通してから食べるようにしましょう。

